

# 京都舞鶴港セミナー開催

## ～ 北海道・アジアへの Gate-Way 京都舞鶴港 ～

8月23日、広島市内のホテルにおいて、主催：舞鶴港振興会・京都舞鶴港振興研究会、後援：京都府・舞鶴市・舞鶴商工会議所と、新日本海フェリー（株）の協賛により、約50名の出席を得て、「京都舞鶴港セミナー」が開催されました。

このセミナーは、京都舞鶴港における内貿貨物の8割を占める舞鶴・小樽間フェリー航路に国内最速フェリー船が就航した平成16年7月以来、その背後圏が関西はもとより中国・四国地域まで拡大し



挨拶する齋藤彰舞鶴市長

ていることから、物流・旅行等企業に対して舞鶴港の現況と将来像をPRすることを目的に開催されたものです。

冒頭の齋藤彰舞鶴市長の挨拶に続いて、舞鶴港振興会から「舞鶴港の現状」（西港和田地区の大型多目的ふ頭が平成21年供用開始など）、新日本海フェリー（株）から「舞鶴・小樽間フェリー航路」（国内貿易・旅客等）について、説明が行われました。

その後、交流レセプションに移り、物流関係企業等との交流を深めました。



説明に聞き入る参加者

# クルーズ客船飛鳥II寄港

9月8日、日本最大級のクルーズ客船「飛鳥II（アスカツ）」が、舞鶴西港第2ふ頭に寄港しました。

「飛鳥II」は日本を代表するクルーズ客船で、国内だけでなく海外周遊にも利用されています。

入港後、歓迎セレモニーが行われ、宮津市の「ウインドオーケストラ与謝」によるバンド演奏や、齋藤彰舞鶴市長の挨拶につづき、



舞鶴西港第2ふ頭に停泊する飛鳥II

クイーンまいづる、プリンセス天橋立から花束贈呈などを行った。乗客はグループに分かれて市内見学や京都市、府北部などへのオプションツアーに向かいました。

午後からは、公募で選ばれた府民約150人が、船内見学をしました。



クイーンまいづる・プリンセス天橋立から花束贈呈（中央が船長）

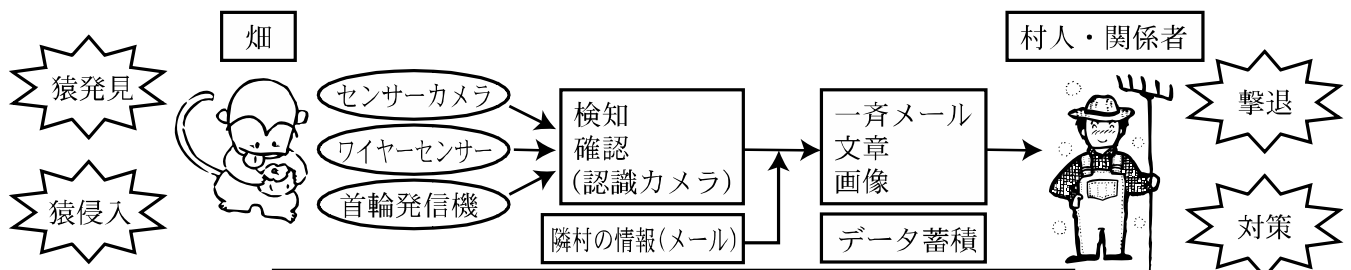
### 深刻な農作物の猿被害に まった!!

さる はっ けん でん

# 『猿発見伝』

侵入検知通報システム及び  
通報システムを開発!!

舞鶴工業集積協議会（会長 西 忠生）は、農村部において全国的な問題となっている有害鳥獣による農作物被害、特に“猿”に対しての検知通報システムについて2種類の対策機器の商品化に成功した。名づけて「猿発見伝」。猿は学習能力も高く、被害対策機器の商品化は非常に難しいのが現状であるが、当システムは、追い払いは基本的に人間(周辺部の方)がおこなうことを前提とし、その前段階の検知通報を容易にするためのシステムである。機種は2種類あり、猿の体温に反応するカメラや、獣道に仕掛けるワイヤーセンサーによる侵入検知のほか、群れの1匹を捕まえて首輪式の発信機を取り付けることにより半径1 kmに侵入した場合にわかるなど、3種類のセンサーを備え、それらにより検知した情報を自動的にメールで送信するAタイプと、検知は人間がおこない、集会所や自治会長宅などに置き、お年寄りでも簡単に通報ができる専用端末からメールで通報するBタイプを揃えた。



舞鶴工業集積協議会 会長 西 忠生  
〒625-0036 京都府舞鶴市字浜66 電話: 0773-62-4600 fax: 0773-62-4933  
e-mail: syuseki@ml.dance.ne.jp URL: <http://www.nkyoto.net/sisaku/> (北京都大物試作ネット)